

科目名	薬理学Ⅰ			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	救急救命士科1年	後期	必修・選択
〔授業の目的・ねらい〕							
救急救命士として理解すべき医薬品の作用機序・適応・副作用などを中心に理解する。							
〔授業全体の内容の概要〕							
テキストを骨子に必要なと思われる部分は各専門書を参考にしたプリントにて理解を深める。							
〔講師の実務経験〕							
薬剤師、衛生検査技師として、八尾徳洲会総合病院、国立大阪病院、に勤務。のちに救急救命士資格取得しコメディカルの育成に携わる。							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
学科テストを単なる優劣の差と考えず、基礎的知識の理解の指標とする。全員が合格点をとれる様に。							
回数	講義内容						
1	薬物とは						
2	薬物の代謝						
3	薬物の有害作用						
4	神経伝達物質について						
5	交感神経・副交感神経・ニコチン受容体の役割、薬物と疾患について						
6	心疾患、不整脈薬等						
7	輸液製剤、浸透圧について						
8	糖尿病、インスリン、低血糖、抗凝固薬、解熱鎮痛薬について						
	定期筆記試験						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
救急救命士標準テキスト上巻				へるす出版			
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
終講時試験。履修規定に準じる。							